

平成27年度事業活動報告（委員会活動状況）

1. マンション用玄関ドアの耐用年数の技術的研究 【継続事業】

マンション玄関ドアの適正な時期での扉交換を促すことでの扉腐食クレーム削減及び玄関ドアの普及促進を図り、耐用年数に関わる性能（耐候性・耐食性・開閉耐久性等）を性能試験により実力を把握しつつ、鋼軽協としての（仮称）耐用年数のガイドライン（扉交換の目安時期等）の取り纏めを行う。

本年度は、以下内容について進めました。

- ・目的及びアウトプットイメージ作成
- ・性能試験内容（試験項目・試験方法・試験体仕様・試験計画等）決定
- ・各社役割分担、概算費用算出
- ・暴露試験体の設置作業（運営委員・技術委員協働）
⇒暴露試験地 淡路（淀川製鋼所 暴露試験所の1画）
小山（文化シャッター工業敷地内）
滑川（YKK AP 敷地内）

※淡路での暴露試験実施にあたっては、淀川製鋼所との覚書を取り交わししています

※12月より試験体製作・部品手配等に入り、2月より性能試験開始

2. ホームページの充実 【継続事業】

各社における不具合・クレーム事例などをもとに、その対応を鋼軽協として協議し広く告知が必要と思われる情報についてはホームページに掲載する等行った。

また、既に掲載されている情報においても、必要に応じ見直しを実施

3. 勉強会開催 【継続事業】

会員各位のスキル向上等を図り、玄関ドアに関連する部品の勉強会を開催した

⇒シブタニ社をお招きし、電気錠 Tebra の紹介を受けた

4. その他

公共建築工事標準仕様書改訂（クロムフリー化、鉛クロムフリー化）の動きについて、各社における事前準備がスムーズに行えるよう情報共有を図った

サッシ協会と協働でドアの断熱性能計算プログラム準備を行っている（活動中）

以上